

第 1 学年 進路学習 指導案

1. 題材名 フィールドワーク 「身近な職業人にインタビューをしよう！」
(本時) インタビューをさせて頂いた方にお礼状を送ろう

2. 題材設定の理由

○題材観

「高等学校での進路選択が人生を左右する」ことは自明の事実であるが、それは生徒にとって容易ではない。知識や情報が乏しい中での安易な進路選択が、将来のニートやフリーターへつながってしまうリスクもあるであろう。最終的に進路を決めるのは本人であるが、学校は生徒一人一人に考える機会を与え、進路決定への道筋を示し、サポートしていく必要がある。本校では段階的に積み上げていく進路指導計画の推進を目指して進路LHRを中心に学年で取り組んでいるが、1学年では「自己理解と職業研究を中心に」を大きなテーマとして自身の適性を知り、職業について理解することを目的とした進路学習を進めている。1学期はR-CAP（進路適性検査）の結果を受け、自分に適性のある職業を知り、夏休みの体験型職業ガイダンスでさらに理解を深めた。2学期はフィールドワークとして職業人へのインタビューを行い、直接職業に携わる人から話を聞くことで、働くことの意味や厳しさも学ばせていきたい。またグループやクラスでのプレゼンテーションを通じて、情報を共有し、理解の幅を広げてさせたいと考えている。

○指導観

本題材では、夏休みに実施した仕事の擬似体験をもとに、職業人へのインタビューをとおして、社会で働くことの意味や厳しさを生徒に想像させ、生徒の職業観の育成を図っていききたい。また、発表をとおして、様々な職業の情報を共有し、理解の幅を広げさせるだけでなく、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身に付けさせたい。発表やインタビューで必要な情報については「仕事紹介シート」を積極的に運用させ、生徒が伝えたい内容やたずねたい事柄が整理しやすくなるように指導をすすめていきたい。

なお、本題材については、フィールドワークの進捗状況を適宜確認し、生徒の到達状況を把握すると共に、生徒にも発表の際には内容評価を行わせるなど、評価と指導を一体化させていきたい。

3. 目標

「生徒の自己理解と職業研究を中心に」

進路適性検査などを通じて、生徒の自己理解を図るとともに高校卒業後の進路を考える意義と具体的なルートを理解させる。特に職業について、体験やフィールドワークを通じて、意識と理解を広げ、働く意味や苦労そして喜びなどについて考えるきっかけとする。本題材では、職業人との関わりの中で生徒の職業観を育成すること、インタビューやお礼状の作成からマナーを身につけ、コミュニケーション能力を高めることを主たる目的としている。

4. 指導計画

(1学期) 進路オリエンテーション

R-CAPの結果を活用した自己発見進路LHR

(夏休み) 体験型職業ガイダンスと振り返りレポート作成

(2学期) フィールドワーク「身近な職業人にインタビューをしよう」(本時3/3)

(3学期) イメージトレーニング「就職、結婚・・・人生の出来事とお金」

5. 本時の目標

- ・職業に関心を持ち、その理解を目指して自主的・積極的・意欲的に取り組ませる。
- ・仕事について得た情報について自ら思考を深め、発表やお礼の方法について考えさせると共に、礼儀やマナーといった社会性を身に付けさせる。

6. 指導上の留意点

- ・事前準備・・・「仕事紹介シート」「R-CAP ファイル」を必ず持参させる。
- ・3つの側面（社会性・個人性・経済性）について考えられるように指導する。
- ・今回の進路学習に対する自己評価をきちんと行わせるように指導する。

7. 教材

①進路学習ワークシート

参考：R-CAP 事務局 編

「職業観・勤労観を育む7つのキャリア授業」すぐに使えるワークシート集

8. 過程

	学習活動・内容	指導上の留意点	教材	配時	形態	評価
導入	準備を整え着席しておく。 高校卒業後の主な進路について確認し、なぜ職業人にインタビューするのか説明する。	出席を取り、準備状態を確認する。 本時のねらいを明確に説明する。		20分	一斉	(1)
展開	インタビュー実施に関するワークシートを記入させる。	しっかりと記入し、インタビュー準備ができているかを確認する。	①	30分	一斉	(1)
	職業人へインタビューを実施。 (各個人で実施)	HR等を利用し、進捗状況を適宜確認する。	①		個人	(1)
	準備を整え着席しておく。 班分けをし、互いに発表。他の生徒はワークシートに記入。 班毎にクラスに発表。発表を聞き、①仕事をする意義や目的 ②高校生の内にやるべき事を考えさせる。	出席を取り、準備状態を確認する。 班毎の進捗状況を確認し、適宜指導する。 「仕事をする」意義や目的について話し、まとめをする。	①	50分	一斉・個人	(2)
	準備を整え着席しておく。 インタビューを通して学んだ事をまとめる。 お礼状を作成する。	出席を取り、準備状態を確認する。 ワークシートに記入をしているか確認する。 お礼状の意味について説明し、作成させる。	①	35分	一斉・個人	(1) (2)
まとめ	一連の活動を振り返り、感想シートを記入する。	一連の活動を振り返り、全体的なまとめをする。	①	15分	一斉	(2)
評価	(1) 職業に関心を持ち、その理解を目指して自主的・積極的・意欲的に取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】 (2) 仕事について得た情報について自ら思考を深め、発表やお礼の方法について考えさせると共に、礼儀やマナーといった社会性を身に付けさせる。 【技能・表現】					

※太枠が本時